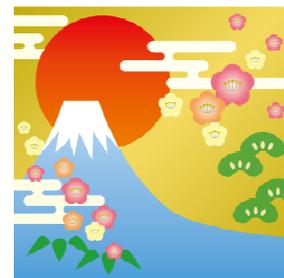


ほほえみ 第74号



新年、おめでとうございます。2017年、平成29年を迎えました。昨年は、診療体制のことなどもあり、皆様にご迷惑をお掛けすることの多い一年でした。また、多くの方々に助けられ、支えていただいた一年でもありました。今年は、酉年ですが、どのような一年になるのでしょうか。ほほえみ読者の皆様にとって、良い一年となりますように、心よりお祈り申し上げます。

易経

呂新吾(明時代)の呻吟語を読んでいると、宋の時代に出た、程明道、周茂叔などよりも、六経四書を読むように書かれています。呂新吾は、朱熹が嫌いなので、朱熹は挙げていません。個人的には、四書は読んでも、六経すべてまでは読んでいませんが、最も難解なのは、易経なのではないかと思えます。当たるも八卦、当たらずも八卦と言いますが、易経では、この八卦の卦を二つ重ねて読み取るのです。八卦を二つ掛けるので、六十四卦になります。

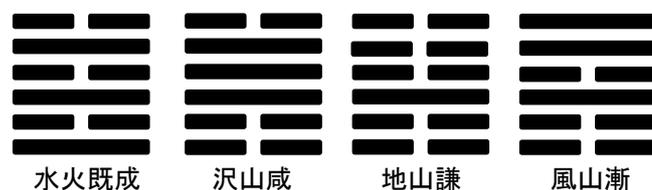
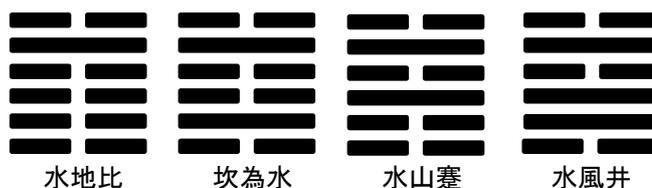
易経は、現代の占いよりも哲学に近い気がしますが、この世の森羅万象を、六十四卦に符合し、陰陽の流れを読むものです。実際には、世の中の本質を、カテゴリー化したものと言っても良いかと思えます。殷の頃は、亀の甲羅や牛の骨を焼いて、ひび割れの形を読むというのがしきたりで、六十四卦どころか1200にも分類された緻密なものであったようですが、後世には伝わっていません。易経は周の頃にできたとされているので、だいぶ時代は下ります。

本来は、占噬して、出た卦の意味を読むのですが、ここでは逆向きに、今の世の中を卦に当てはめて2016年を理解すると、天皇の退位の意向は、識者の判断ということになり(陰)、安倍長期政権で(陽)、次の勢力は育たない。野党第一党は女性党首と見ると(陰)、水の卦でしょうか。その下をどう見るかで、数学的には8通りありますね。出生率も低く、少子高齢化は進行中で、初爻を陰に置くと、4通りでしょう。水地比、坎為水、水山蹇、水風井がそれぞれです。

この中を見渡すと、最も当てはまりそうなのは水山蹇と思えます。蹇は、足が悪い、行き悩むというものです。五輪競技場や、築地移転などみても、2016年は行き悩む年でした。

2017年を占うため、水山蹇がその後どうなるかを考えると、変爻という操作をします。陰と陽を一つだけ入れ替えるものです。本当は、どれを変爻するかも占うのですが、ここではすべての可能性を見ると、下から順に一つだけ陰陽を変えて、

水火既成	万事すでに成る
水風井	清水をたたえた井戸
水地比	親しんで助け合う
澤山咸	心のふれあい
地山謙	謙虚の徳用
風山漸	着実な成長



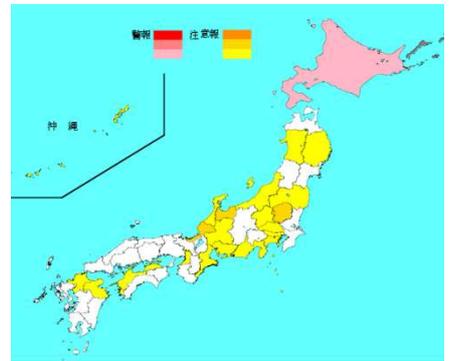
となって、いずれにしても良い卦がでてくるのかも。地山謙は古来、大吉ですし、首相が謙虚になることが大事なのでしょう。そもそも、初心者が占うのはどんなものか？お遊びとして、読んでいただければと思います。結局、単に、悪いことばかりは起こらないというだけかもしれません。易とは、本来そういう意味なのです。

2017年のインフルエンザ状況

1月は寒さの最も厳しい時期ですが、インフルエンザの流行期を迎える時期でもあります。12月中に関しては、本格的な流行ではありませんが、全国の流行状況を見ると、岩手県は流行が最も兆している地域であることがわかります。

インフルエンザのワクチン、診断キットや、インフルエンザ薬もありますが、感染しやすい状況そのものを回避すること以上の対策はないように思います。人ごみや、感染している人、学校でインフルエンザが流行している時期の学童期の子供との接触を控えるなどです。

例年、2月にかけて流行のピークとなりますので、ここ1-2か月は、要注意でお過ごしください。



2016年12月26日現在

百人一首

昔、我が家でかるたをすれば、百人一首でした。最初に、百人一首で遊んだのは、多分、幼稚園か小学校低学年であったと思うのですが、上の句を読んで、下の句(取り札)を取るという独特のシステムが、理解できなかったように思います。

そのうちに、好きな歌が出来たりするのですが、子供だと、文学的な歌の内容というよりは、言葉遣い、語感が変わっているというところに、惹かれる訳です。「ながながしよをひとりかもねむ」とか、「すえのまつやまなみこさじとは」とかですね。なみこさじは、「波越さじ」とは思わずに、「波小匙？」という風に、子供には思えるからです。波が小匙なんて変だなと・・・。

まあ、最初はそんなものかと思います。今は、書店に様々なかるたが売っていて、面白いのですが、伝統的な百人一首も良いものだなと思います。



MEMO

1月のがん化学療法科の予定

1月4日	仕事始め、診療応援(大堀先生)
1月9日	成人の日
1月10日	診療応援(伊藤先生)
1月13日	柴田教授外来
1月18日	診療応援(大堀先生)
1月24日	診療応援(西條先生)

お餅のカロリーを考慮してから、食べるようになりました。

